

## 定住自立圏構想 奥州市と共同中心市を宣言

市は7月29日、奥州市と定住自立圏構想に基づく「共同中心市」宣言を当市本庁舎で行い、小沢昌記奥州市長と共に宣言書に署名しました。定住自立圏は二市と金ケ崎町、西和賀町とで構成し、愛称を「平安時代の北上川流域一帯」とし、「日高見の国定住自立圏」としました。

この圏域は、国道4号、JR東北本線、国道107号、JR北上線などの交通体系に恵まれています。それにより

生活圏や経済圏を共有する結びつきの強い地域です。今後本格的な人口減少時代を迎える中、個性を生かした魅力ある地方を創出し、新しいライフスタイルの提供や地域経済の活性化によるまちづくりに共同で取り組む必要があります。

両市は「共同中心市」として圏域全体の暮らしに必要な都市機能を担い、産業振興や豊かな自然環境の保全など、自主性と自立性を尊重しながら、



中心市宣言を行った小沢市長(左)と高橋市長(右)

## 市史編さん室を設置 第1回市史編さん委員会を開催

市は、新しい「北上市史」の刊行に向け、4月から市史編さん室を設置しました。平成3年の三市町村の合併前には各市町村史がありましたが、最後の刊行から年月がたち資料の散逸が危ぶまれていたことから、新市史の編さんが求められていました。

編さん委員には、佐々木和夫氏(岩手古文書学会理事)、佐竹邦彦氏(博物館専任研究員)、沼山源喜治氏(北上市文化財保護審議会長)、本堂壽

一氏(元博物館長)、和賀篤子氏(北上史談会長)、高橋源英氏(前北上平和記念館長)、阿部武司氏(東北文化財映像研究所長)、高橋文明文化財課長、及川義明副市長、小原善則教育長の10人を委嘱しました。

7月23日の第1回市史編さん委員会では、委員長に及川副市長、職務代理人に和賀氏を選出しました。今後、年度内の基本計画策定に向けて審議してまいります。

## 市内の避難者状況 (7月31日現在)

縣市町村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市
世帯	3(0)	14(0)	28(-1)	20(-1)	9(0)
人数	5(0)	31(0)	47(-2)	45(-1)	17(0)
縣市町村	陸前高田市	宮城県	福島県	合計	
世帯	12(0)	10(0)	13(0)	109(-2)	
人数	19(0)	17(0)	30(-1)	211(-4)	

※( )は前月比。市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

## 放射性物質に汚染された 農林産物の焼却結果(7月分)

### 1 実施内容 (一般ごみと混ぜて焼却)

焼却物	期間	処理量
稲わら	7月1日～11日の11日間	11.75トン

### 2 放射性物質濃度測定結果

単位：Bq(ベクレル)/kg、基準値：8,000Bq/kg以下

測定対象物	測定最大値	測定最小値
焼却前稲わら	2,188.59	76.87

※基準値以下の汚染レベルの低い廃棄物は市町村が処理。

### 3 放射性物質濃度精密測定結果

測定対象物	測定最大値	測定最小値	管理方針
焼却灰(主灰)	不検出	不検出	1,000Bq/kg以下に管理
焼却灰(飛灰)	145.00	145.00	
排ガス	不検出	不検出	1 Bq/m <sup>3</sup> 以下に管理
最終処分場放流水など	不検出	不検出	1 Bq/l以下に管理

### 4 空間放射線量測定結果

単位：μSv(マイクロシーベルト)/時  
基準値：0.23 μSv/時

測定場所	測定最大値	測定最小値
清掃事業所(上鬼柳)	0.10	0.06
最終処分場(臥牛)	0.09	0.06

このほか市内13カ所で測定しましたが、いずれも基準値を下回りました。詳しい測定結果は、市のホームページに掲載しています。

## 市民説明会を10月に開催します

焼却結果について説明します。日程などは9月の広報きたかみでお知らせします。

### 問い合わせ

(牧草・稲わらに関すること)  
農業振興課 ☎ 72-8238  
(しいたけほだ木に関すること)  
農林企画課 ☎ 72-8237  
(焼却処分・埋立処分に関すること)  
クリーン推進課 ☎ 72-8285

# 希望郷 いわて国体 2016 希望郷 いわて大会 2016

第71回国民体育大会

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

2016

第16回全国障害者スポーツ大会

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

2016

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会365日前イベント

## 「国立のレガシーを北上へ」 座席取り付けボランティア募集!!

●とき 10月10日(土)

午前11時30分～午後2時

●ところ 北上陸上競技場

昨年6月に国立競技場より譲り受けた座席を、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会のメイン会場となる北上陸上競技場に取り付けるボランティアを募集します。

皆さんで楽しく交流し、いわて国体・いわて大会開催地の「おもてなしの街北上」を全国に発信しましょう。

●募集期間 9月1日(火)～9月30日(水)

●定員 600人程度(申し込み状況など募  
集期間を変更する場合があります)

●申し込み 申込書に必要事項を記入し、ファク  
ス、電子メール、または郵送(〒  
024-8502住所記載不要)  
で市実行委員会事務局へ

※申込書は、3庁舎などに配置しているほか、市  
実行委員会のホームページからダウンロードでき  
ます。

### 当日のスケジュール

- 10:50～11:20 受付
- 11:30～11:45 開会セレモニー
- 11:45～13:00 座席取り付け(1,200席) ※工具は不要です
- 13:00～14:00 慰労会(無料振る舞い)

二子芋の子汁、沖縄ジュシーおにぎりなど

○特別サポーター 室伏由佳さん(ハンマー投げ、円盤投げ元全  
日本チャンピオン)



問い合わせ 北上市実行委員会事務局(国体推進課) ☎72-8271 FAX 77-3591  
✉ kokutai@city.kitakami.iwate.jp URL http://kitakamicity.com/kokutai/



### 問題解決

#### ファシリテーター

暑かった夏も終わり秋らしい風が吹き始めた。今年も戦後70年の節目であり、「平和」について深く考えさせられた夏でもあった。「平和」はほとんどの人が希求しているはずであるが、なぜか争いの「道具」になっていく。互いに相手の言う「平和」は偽物だという事なのであろう。第三者的に見るとそれは「私怨」と感じる時さえある。「平和」は「道具」ではないと思うのだが。

さて、一つの例として「平和」を取り上げたが、これらの争いに共通して言えることは、ファシリテーターが存在しないことである。ファシリテーターが存在しないと議論や世論が声の大きい方向に向かって突き進み、歯止めが効かなくなってしまう。日本が

先の大戦に突き進んでしまった時のようにである。私がファシリテーターとして最も期待しているのはメディアであるが、残念ながら「あおり役」になっている場合が多い。ファシリテーターは直訳すると促進役という意味である。いわゆる会議やワークショップなどの進行役と言えればお分かりであろう。問題を解決するには論点を整理し、明確にするともにお互いに発言しやすい環境を作り出していく役割が必要である。参加者の中には固定観念にとらわれ、それを正当化する情報のみを取り上げ発言する、いわゆる確証バイアスにかかっている人もいて正常な議論を妨げている。

タイトルに掲げた「問題解決ファシリテーター」とは、どのような状況にあっても冷静に対応しながら、多くの参加者が発言できる環境をつくり、納得できる解決策を導き出す高い能力を持った人材である。私はメディアの成長を大いに期待する一方、ファシリテーション能力を持った人材の発掘と育成も急がなければならないと思っている。